

2月12日(日)

第1会場

9:00~11:00 CDR-JHRS ジョイントセッション

メインホール

CDRが経験したトラブルケースを考える

## 【概要】

急速な進歩とともに高度かつ複雑になったデバイスの設定に関して、問題を認識し適切に対応することは、必ずしも容易なことではない。デバイスの機能がいくら進歩しても、それを使いこなすことができなければ意味が無い。一方、すべてのメーカーのデバイスの機能に精通することは極めて困難な状況にある。そのためCDRとデバイス治療を行う医師のパートナーシップが重要と思われる。

これまで、日本不整脈学会学術大会においてCDRセッションが設けられてきた。日本不整脈学会植込みデバイス関連冬季大会が開催されるようになり、そこにおいても同様のCDRセッションが企画されてきた。日本不整脈学会学術大会とは別に日本不整脈学会植込みデバイス関連冬季大会が開催されるようになった趣旨に則り、今回は趣向を変えてCDR-JHRS ジョイントセッションを企画した。CDRより提示されたトラブルケースに関してCDRとデバイスに精通した医師の間で討論、検討を加え、デバイスのより良い設定を考えていくという試みである。フロアからも積極的に参加して頂きたい。そして、このセッションがCDRとデバイス治療を行う医師の双方に有益なものになることを期待している。

〔座長〕 野上 昭彦 横浜労災病院不整脈科  
石川 利之 横浜市立大学附属病院循環器内科

## コメンテーター

## 1. ペースメーカー症例

CDR： 日本ライフライン株式会社 ○長峰 岳英  
フクダ電子株式会社 ○楠本 篤司  
株式会社ジェイ・エム・エス ○緑川 孝彦  
JHRS： 板橋中央総合病院循環器科・不整脈・心不全診療部 ○中島 博  
北光記念病院循環器科 ○四倉 昭彦

## 2. ICD症例

CDR： 日本メドトロニック株式会社 ○柏 徹雄  
ボストン・サイエンティフィックジャパン株式会社 ○中島 正雄  
セント・ジュード・メディカル株式会社 ○那須 禎彦  
JHRS： 産業医科大学循環器内科 ○荻ノ沢泰司  
日本大学医学部内科学系循環器内科学分野 ○中井 俊子